

活動報告は、公式ホームページ・ブログ・Facebookでもご覧いただけます。

公式ホームページ

ささとゆうじ Q 検索



Facebookでは「ささとゆうじ」で検索

ブログ(ゆうさんのブログ)



- 市政相談は随時
- 育児・発達相談も随時(予約要/保育士の妻が対応)

市政に対するご要望、ご相談がございましたらお気軽にご連絡ください。
〒580-0033 大阪府松原市天美南4-10-3
携帯電話: **090-1445-1086** TEL/FAX: 072-283-1414
E-mail: **y.sasamoto@pink.zaq.jp**



Instagram
Instagramも
フォローお願いします



議会報告

◆ 猛暑で児童生徒や教師が悩まされ、また利用者が切望していた 小中学校体育館・市民体育館への空調機の設置が実現しました!

近年、猛暑日が年々増加傾向にあることから「令和4年第4回定例会(12月議会)」で研究、検討をお願いしていました市内小中学校体育館と「令和5年第3回定例会(9月議会)」で要望していました市民体育館のアリーナへの空調機設置について、令和6年元日に発災した能登半島地震がきっかけに、当該施設は避難所の機能を有することから澤井市長の理解と英断で予算が計上され議会で可決されました。

空調の名称: グッピーバズーカ(クボタ製)
(農業用ビニルハウス用スポットエアコン)
一台当たりの工事費が比較的安価で電気代も安く済みます。また、キュービクルの工事也不要と言うことで一度に多額の予算を投じずまとめて設置出来ました。
財源については国の補助金や質の良い市債を発行して出来るだけ後年度に負担がかからないように注意を払いながら設置を進めています。

○市内7中学校屋内運動場 令和7年2月設置完了
—— 決算額約1億7千万円

○市民体育館アリーナ 令和7年3月設置完了
—— 決算額約9,500万円

○市内14小学校(松原西小除く)屋内運動場
令和8年2月設置完了予定 —— 予算額3億2千万円



中学校体育館



市民体育館アリーナ

◆ 「学校プール」と「市民プール」の今後のあり方と 効率的かつ合理的な利活用を提案要望中です! (令和7年第3回定例会(9月議会))

小中22校の学校プールについては築40年前後のものが殆どであり、老朽化が著しい状態です。しかも昨今の猛暑や集中豪雨など天候不順で計画的な水泳授業が困難な状況が続いています。他の自治体では民間プールを活用した水泳指導が進み、文科省の調査によると全国的には学校の統廃合よりも学校プールの廃止の率が上回っていることがその実態を示しています。本市では大きな民間プールは一か所あるものの全学校の授業を受けることは到底不可能です。
また、昭和61年開設の現市民プールも同様に老朽化が進み、大規模な改修をしつつも限界に近づいてきています。年間通じて利用できるレジャー機能を持たせた屋内型温水プールを建設し、そこで市内小中学校の水泳指導を一年通じて行うことで、インストラクターによる計画的な指導のもとでの児童生徒の泳力の確保・向上、先生の働き方改革、財政負担の軽減、ひいては市民の健康増進に寄与出来ると訴えています。

大阪河内長野線南伸の整備計画により近い将来撤去予定の天美南小学校のプールの懸案課題もあるので全体的に早急な対応を求めています。

議会録画は
こちらから▶



まつばら未来会派行政視察(令和7年11月11日㊦)

◆ 島根県伯耆町清掃センター/使用済み紙おむつ燃料化事業

この施設を視察した目的は、地球温暖化防止対策、SDGs、環境教育といった様々な観点から、実際に介護施設や保育所等から回収した紙おむつを再資源化している当該施設を実際に見て、利点や課題に関して現地で直に学ぶことでした。事業所から排出される使用済み紙おむつを燃料として再利用することで、将来的に屋内型温水プール建設が実現した折にはバイオマスボイラーを使った熱資源の一部としての利活用が期待できることから検討する価値が十分にあるものと考えます。



◆ 鳥取県倉吉市営温水プール/学校水泳指導とレジャープールとの両立

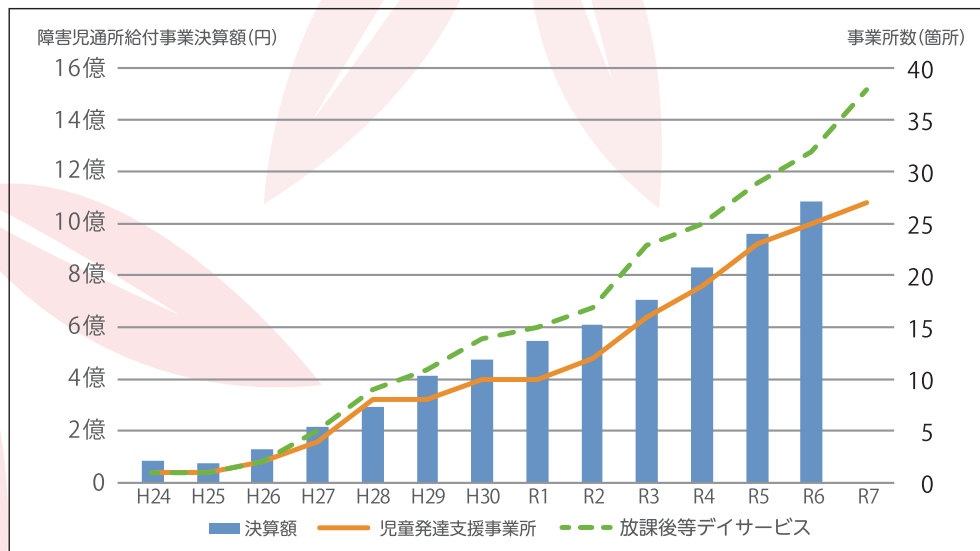
本施設は長きに渡り市外からも多くの来場者を迎える程親しまれています。昨今の諸条件で学校での水泳指導が難しくなっている中、昨年から当該施設での水泳指導を始める動きが出てきており、その現状を聴き取りに伺いました。水泳授業と一般利用の間で大きな苦情も無く運営されているようで、全国的に屋内型温水プールの活用が進んでいることから本市でも早期に可能性を探ってみたいと思っています。



◆ 発達検査に重きを置いた「5歳児健診」がいよいよスタートします！

令和6年第4回定例会(12月議会)にて提案要望しました「5歳児健診」がいよいよ始まります。令和8年度からの本格実施に向け、体制の準備期間として令和8年1月からスタートします。

「実施義務である1歳7か月あるいは3歳半での健診で発達上の問題の早期発見に努められていますが、軽度や知的障害が無いと幼い子の特性は分かり辛いと言われています。5歳児頃に特性が明らかになることも多く、最近では保護者の受容も進んでいることもあって「早期発見・早期療育」が広がり始め、その現れとして福祉サービスの利用(決算額)と施設数の急激な増加が顕著です。就学前の適切な時期に最適な療育が施されることが期待されます。



◆ 介護予防事業として「健康麻雀」の導入を提案しています！ (令和7年第4回定例会(12月議会)福祉文教委員会協議会)

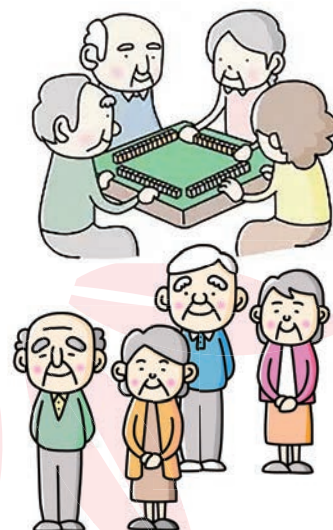
「麻雀」と聞くとお酒やたばこ、賭けごとなどの少し「夜」をイメージされる方も多いのではないのでしょうか。ところが最近、「(お酒を)飲まない・(タバコを)吸わない・(お金を)賭けない」の3原則を掲げた頭脳ゲームとしての麻雀が高齢者を中心に多く親しまれています。認知症予防に効果があるとされ、科学的根拠も明らかにされています。

「ねんりんピック(全国健康福祉祭)」でも2007年から正式種目となり、厚生労働省や地方自治体、財団法人長寿社会開発センターが主催の大会でそこを目標にされている方も多くおられます。

ルールを知っている人も知らない人もそれぞれのレベルやペースで対戦し、特に社交的な場が苦手とされる男性が楽しく交流が持てる「健康麻雀」で、新しい出会いが人生を豊かすることにつながればと願います。

健康的でにぎやかな市主催の大会が開催できるように「介護予防事業」として今後研究していただきます。

議会録画は
こちらから▶



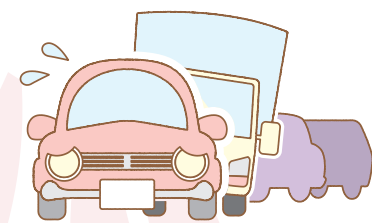
◆ 阿保2丁目交差点(明治橋病院前)の慢性的な交通渋滞がもたらす影響とは・・・ (令和7年第2回定例会(6月議会)総務建設委員会協議会)

特に朝夕の堺港大堀線の交通渋滞がひどく、西に向かって福山通運あたりまでかなりの車両が列をなしている光景が常態化しています。渋滞緩和への働きかけを市から大阪府や大阪府警に以前から行ってもらっているものの、国道309号線の交通量とのバランスと大阪市内へ向かう左折専用レーンが確保できないことから渋滞解消に至っていません。その結果、現状ではその渋滞を回避しようと青い鳥学園前から生活道路を抜け道として大阪市内方面に行く車両が増えて、天美南小学校の通学路が危険な状態にさらされています。

令和3年から10年間の計画で大阪河内長野線の大堀線から堺港大堀線までの南伸計画が進められており、特に児童の安全確保の為に早期に整備されることを訴えています。

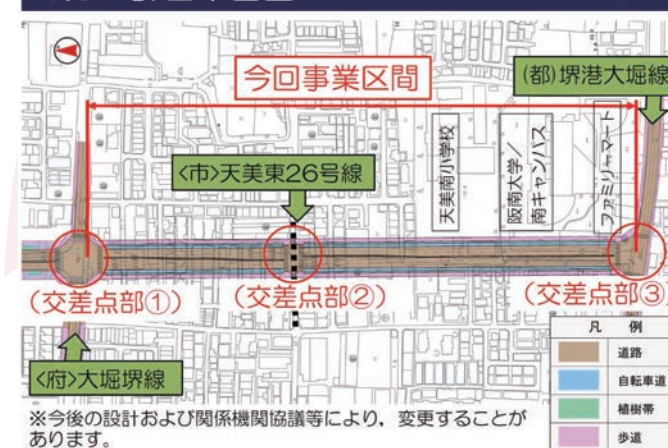
地元の地区でもあり、堀町会を代表している立場でもあることから池内地区と共に地元協議を大阪府に求め、安全対策や交通環境が改善するように早くから協議の場を設けて貰っています。閉校中である阪南大学南キャンパスから北方面への工事を計画に則って進め、生活道路への車両の進入抑制を一日でも早く図って頂きたい。

議会録画は
こちらから▶



1.5 計画平面図

※大阪河内長野線南伸(交差点図)



※大阪府富田林土木事務所資料

地域活動スナップ



地域の保育園年長組さんによる毎年恒例のお米作り体験に、今年は羽釜で炊いた新米の試食体験を取り入れてみました。

つまり、子ども達が植えて育った稲を鎌で刈り、天日干しした新米を羽釜で炊いて一緒に食べました。生産から消費まで一貫した「食育」になったと実感しています。子ども達に食べ物大切さを伝えるのと同時に、農作物を作る体験が今後様々な事に生かされることを願っています。



田植え



稲刈り



どろんこになって楽しんでいます！



天日干し



じゃがいも掘り



ひまわり

コスモス



新米の羽釜炊き



みんなで食べると美味しいね！



ごちそうさまでした！